

## NEWS RELEASE (2022年2月9日) 取材依頼

水産学部4年生が日本初記録のベラ科魚類にイトヒキオハグロベラと命名

報道機関 各位

平素より本学の報道に関しては大変お世話になっております。

このたび、鹿児島大学総合研究博物館の研究チームが、ベラ科オハグロベラ属の一種 *Pteragogus flagellifer* (プテラゴグス・フラジェリファ) を日本からの標本に基づく記録として報告しました。本種はインド・西太平洋の熱帯域に広く分布することが知られていましたが、日本では屋久島や沖縄島などから水中写真(写真1)が撮影されているのみで、同定の根拠となる標本は得られていませんでした(注1)。

つきましては、次のとおりお知らせいたしますので、是非とも取材・報道いただきますようよろしくお願いいたします。

### 【概要】

2004年1月25日に沖縄島から採集された個体(写真2)を調査し、その結果はオンライン査読誌 *Ichthy, Natural History of Fishes of Japan* で2022年2月2日に出版されました。筆頭著者である水産学部4年の飯野友香さんは、国内におけるオハグロベラ属魚類に関する水中写真による記録から *P. flagellifer* の国内の分布状況を明らかにすると共に、本種には適用されるべき和名がないことをつきとめました。そこで飯野さんは、日本に分布するオハグロベラ属魚類の中でも成魚において背鰭や臀鰭が特に伸長することに因み、新標準和名イトヒキオハグロベラを提唱しました。

日本産イトヒキオハグロベラの唯一の標本は総合研究博物館に学術標本として所蔵されています。

注1：すべての生物は標本に基づき名前(和名も学名も)が付けられます。目撃情報や写真に基づく命名はできません。命名に使用された標本は博物館で永久保管されます。

### 【タイトル】

ベラ科魚類 *Pteragogus flagellifer* イトヒキオハグロベラ(新称)の標本に基づく日本からの初記録、および国内における分布状況

### 【著者】

飯野友香・本村浩之

### 【掲載誌】

*Ichthy, Natural History of Fishes of Japan*

### 【DOI】

10.34583/ichthy.17.0\_5

[https://www.jstage.jst.go.jp/article/ichthy/17/0/17\\_5/\\_article/-char/ja](https://www.jstage.jst.go.jp/article/ichthy/17/0/17_5/_article/-char/ja)

---

【関連ページ】

総合研究博物館 本村浩之教授 ホームページ

<http://www.museum.kagoshima-u.ac.jp/staff/motomura/motomura.html>



写真1 イトヒキオハグロペラの水中写真（屋久島ダイビングサービス「もりとうみ」原崎 森氏撮影）



写真2 標準和名イトヒキオハグロペラの基準となった標本（総合研究博物館所蔵標本）

---

**【問い合わせ先】**

鹿児島大学総合研究博物館 館長・教授

本村 浩之（モトムラ ヒロユキ）

〒890-0065 鹿児島市郡元 1-21-30

TEL：099-285-8111

E-mail：[motomura@kaum.kagoshima-u.ac.jp](mailto:motomura@kaum.kagoshima-u.ac.jp)

※取材される際は、新型コロナウイルス感染症予防対策の徹底をお願いいたします。